

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市泥亀地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

担当地域は、金沢区の中心に位置する圏域で、主要駅である金沢文庫駅から南東に平潟湾に面した市街地と野島を含む金沢地区、海の公園に面し、称名寺を含む金沢南部地区、同駅を中心とした京浜急行と国道16号線に沿った形で広がる金沢中部地区の3地区です。

金沢八景のうち四景を有する景勝地で、いまでも平潟湾を行き来する釣り船や、野島では自然海浜を見ることができ、市内でも少ない漁港がある一方で金沢文庫や称名寺などを有する歴史的にも由緒ある地区です。

そして古くからの戸建住宅に大型マンションや団地等が混在しています。また、緩やかな人口減少があり、15歳から64歳の方々の転出がみられています。高齢化率などは地区ごとに違いますが、65歳以上の高齢者がいる世帯が増え、特に高齢者世帯の増加がみられ、今後は75歳以上の高齢者の増加が続くと考えられています。

課題としては、現在もお祭りや行事が活発に行われていますが、さらに世代を超えた住民同士のつながりや顔の見える関係づくりが求められています。

また、地域ケアプラザから遠方になる地域では講座参加や相談に来にくいといった状況があります。そのような地区や民生委員の不在の地区では孤立死や虚弱者の重症化ということにもつながりやすいと考えられます。

そして地域での活動の今後の継続や発展のために担い手となる人材への支援が考えられます。

さらに第3期地域福祉保健計画（区計画・地区別計画）の推進に向け、地域支援チームとして地域ケアプラザとしても後方支援をおこなっていきます。潜在化した個別のニーズの発見の機会を増やし、地域のニーズを把握し、地域の特性に合わせた地域福祉活動を行います。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢をはじめ、子ども・障がい分野も含めた総合的な相談窓口として、電話・来所または訪問でのご相談をお受けし、適切な窓口をご紹介しますなどの情報提供及び支援を行ってまいります。地域の気軽な相談窓口を目指します。必要に応じ、区役所や関係機関とも連携しながら対応します。窓口には、ご相談に活用できるよう、各種資料を整備し、適切な情報提供を行ってまいります。

また、直接のご相談以外にも、地域ケアプラザの事業や地域での出前講座や会合等への参加を通して広報・啓発活動を行い、相談受付・情報提供の機会を設け、ニーズを発掘してまいります。各事業を通して、関係機関との連携を深め、対応してまいります。

相談に対応するため、職員は研修参加や情報収集を行い、新しい知識の集積に努めます。地域の相談内容を把握し、課題に即した事業展開をしてまいります。

(2) 各事業の連携

地域交流担当、生活支援体制整備事業担当、地域包括支援センター担当とで協働で多くの事業を実施してまいります。ともに関わることで課題を共有し、個別支援やさらなる事業の展開を進めてまいります。

また、ともに地域に出向き、地域状況の把握に努めます。地域の状況を職種の異なる立場からとらえることで、必要とされる地域支援に取り組みます。

今年度より、生活支援コーディネーター他増員職員を加え、所内での朝礼や定期的な5職種会議、職員会議で情報の共有や意見交換を密に行い、より一層の連携に努めます。事業の計画・報告等は書面にて回覧し、常時閲覧できるようにしています。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域包括支援センター、地域活動交流、通所介護、介護予防支援事業、居宅介護支援事業など、それぞれの専門職に必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しています。常勤職員を全て正規職員とし、法人単位で育成プログラムを作成し、職員の努力と熱意に応える体制をとってまいります。通所介護事業では、サービスの質の向上を図るために、法定人員配置基準を上回る人員を配置します。

またそれぞれの専門分野に限らず、総合的で多様な問い合わせなどにも対応できるように、各職種の連携を強化し、職員の育成に努めます。

職員としての階層的な育成のため、階層別研修も行われており、新人研修、中堅リーダー研修、管理職研修等も実施しています。

法人では計画的に中堅職員等に講師を経験させるなど、職員のレベルアップに繋がっています。

また、地域ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対し公正中立な立場で業務にあたります。地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所一覧を提示し、複数の選択肢があることを知る機会を設けます。そして相談者の個別の状況に配慮し、相談者の意思を尊重してまいります。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地区社会福祉協議会、町内会、民生委員・児童委員協議会、老人会、サロンなど地域の関連団体の会合や事業に参加して情報交換を行い、顔の見える関係の構築と連携強化に努めます。

一昨年度の公開セミナーから発展した「つながりの輪」で、定期的な話し合いを継続していきます。地域ケアプラザ5職種と地域の有志等（区、第1層の生活支援コーディネーター、サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域の方々）で、多方面からの意見により地域課題を抽出し、地域づくりの話し合いを行うネットワークとして進展させていきます。

区と連携して、子育て支援関係者や当事者とのネットワーク構築のために「いきいき子育て連絡会」を開催します。

地域の関係団体（地区社会福祉協議会、町内会、老人会及びサロンなど）に出張し、講演会・説明会などを開催するほか、啓発活動・ボランティアの派遣などにより、地域の方との信頼関係を構築していきます。

また、「サロン支援者交流会」を開催し、支援者同士の交流や活動の支援を行っています。

民生委員・児童委員協議会、地域の関連団体（子育て支援、災害、障がい者支援団体）の定期的な会合に参加し、積極的な情報交換を行います。

(5) 区行政との協働

区役所、区社会福祉協議会とともに、地域支援チームとして、地域福祉保健計画地区別計画の推進のために地域の取組を支援していきます。

区域の地域福祉保健計画の推進にも添いますが、地域に出向いて、介護予防や認知症等の啓発、地域ケアプラザ事業の周知に努めるとともに、地域と連携し事業の実施や関係団体の活動に対して必要な支援を行っています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域の状況等や目的に合った子育て支援、障がい児者支援、地域交流等さまざまな事業を実施・継続していきます。地域に出向き、協働で事業を地域展開できるように取り組みます。

事業実施にあたり、目的や期待する効果などを明確にします。事業実施後にはアンケート等で参加者意見や課題を明確にし、評価と振り返りを行い、事業の継続や自主化に向けた支援を行っていきます。

事業参加者を他の事業と結び付け、交流を広げ、ボランティア活動の機会を提供します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が快適かつ安全で、効率的で公平な施設利用ができるように、できるだけ併設の金沢区福祉活動拠点と協働で活動の場の提供に取り組みます。利用登録団体を対象に、金沢区福祉活動拠点と共催で、利用に向けての情報交換や意見交換、またそれぞれの活動が継続されるような研修等を含めて利用調整会議を実施します。利用に関しての公平性を保つため、毎月1回の貸室抽選会、年1回のロッカーやメールボックスの抽選会を行います。

地域ケアプラザの広報紙や地域のさまざまな会合等を通して、貸館事業についての周知を図り、利用につなげていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

自主事業から発展したグループ（食事サービスボランティアグループやコーヒーボランティア、うどん作りボランティア、講座から立ち上がった工作等のボランティアグループ）が、ボランティアとして継続した活動やさらに自主的な活動となるよう引き続き支援します。また、活動中のボランティアに対して、意見交換の場の提供やモチベーションのさらなる向上・スキルアップのための研修や交流会等で支援に取り組みます。

貸室登録団体等にもボランティア活動の場の紹介や提供を行います。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域での様々な団体等の活動や会合に積極的に参加し、福祉保健活動等の情報収集、実態把握に努めるとともに情報提供を行っていきます。出前講座や会合など機会のあるごとに福祉、保健等の情報提供、地域ケアプラザの機能や事業等の周知をしていきます。

広報紙「すこやかでいき」の年4回発行、ホームページ、区の広報等を随時活用して福祉保健の情報発信の他、自主事業のチラシなどで積極的にPR活動をします。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

地域ケアプラザ5職種と地域の有志等（区、第1層の生活支援コーディネーター、サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域の方々）で、多方面からの意見により地域課題を抽出し、地域づくりの話し合いを行い進展させていきます。28年度から実施している『つながりの輪 この指と～まれ』を話し合いの場として継続し開催します。

平成28年度に始まった地域の居場所【わっか】を年間11回開催します。

ボランティアを含めた事務局で【わっか】準備委員会を行い、2か月先のイベント・当日の担当等を決めます。専門職以外の地域の人々が、自発的に地域づくりの担い手として活躍できる方向性で進めていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

平成28年度に把握したさまざまな情報に加え、今年度は地域の方々の意見、サロン等参加者の住所、高齢化率、要介護認定率など新たなデータ収集を行います。

5職種連携ですすめている『つながりの輪 この指と～まれ』において行政・地域の方々・介護保険事業所等多くの方々の意見を聞き、法人作成の地域アセスメントシートも活用しながら、地域資源の把握、分析を深めていきます。

(3) 連携・協議の場

5職種連携で平成28年度から始まり協議体とした『つながりの輪 この指と～まれ』の話し合いを新たな地域の方々や介護保険サービス事業所、地域の施設等のメンバーを加え平成29年度も継続して協議の場としていきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1か月に1回の金沢区生活支援コーディネーター連絡会において、広域の地域の状況と地域支援方針を理解していきます。区役所・区社協・区内の他ケアプラザの2層生活支援コーディネーターと情報を共有することで、より広域の地域課題から担当の地域の課題解決に向けて支援します。

また、担当地域の課題への取組が、より広域な取組へ繋げていく必要があることについても常に意識して情報共有をしていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

地域に暮らす高齢者等が安心して生活出来るよう、区役所をはじめとする関係機関、地域の様々な社会資源が有機的に関わり連携していけるよう情報共有の機会を設け、3職種並びに生活支援担当や地域活動交流担当が協力してより効果的な事業展開を推進します。

地域ケア会議の開催、地域福祉保健計画の推進に向けた地区推進連絡会への参加等、地域包括ケアシステムの醸成を意識した、ニーズの発見、相談支援、社会資源の発掘・創出の好循環に繋がる包括的なネットワークづくりに努めます。

②実態把握

ご相談や地域のネットワークを通して、地域の高齢者等の心身の状況や生活環境を把握し、様々な内容について総合的かつ迅速に相談・対応できる仕組みを築くよう努めます。5職種連携はもとより、関係機関との連携を通して各種制度やインフォーマルサービス等の把握に努め、情報提供を行います。

- ア 必要に応じて、個別訪問による状況確認を行い、実態把握に努めるとともに、適切な支援を行うよう努めます。
- イ 地域に出向いて『困った時にはまず相談』をキャッチフレーズに、広報・啓発活動を実施します。地域活動から個別相談への繋がりも視野に入れ活動します。
- ウ ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業においては、行政、地域関係者と協力し合い75歳以上の独居高齢者の実態把握に努め、必要な支援に繋げていきます。
- エ 地域ケア会議を開催し、その機能を活かし個別レベル、包括レベルでの実態把握に努めます。

③総合相談支援

地域の高齢者等からの様々なご相談への対応・支援を行っていきます。ご本人やご家族からだけでなく、区役所、民生委員・児童委員、病院、薬局等からのご紹介・ご相談に、連携して対応を行います。また、担当地域以外の方のご相談にも、お住まいの地域の窓口をご紹介する等の対応を行っていきます。

- ア 年々多様化しているご相談内容に対し、地域包括支援センター3職種で連携し、専門性を活かした対応を行います。
- イ ご相談の内容に応じ、適切な機関、フォーマル・インフォーマルサービス等のご紹介や、調整を行い、丁寧且つ迅速な支援を行います。
- ウ 困難事例においては、必要に応じて区役所との連携を密に取り、それぞれの役割分担を確認しながら継続的な支援を行っていきます。
- エ 生活体制整備事業を踏まえ、包括的な相談・支援を行っていきます。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

総合相談等を通じて把握した要支援高齢者等が、その人らしい尊厳ある生活を維持し、安心して生活できるよう、専門的・継続的な視点から支援を行います。また、各種制度や相談窓口等の周知・利用啓発のために積極的な活動を行います。

- ア 権利擁護の観点から、成年後見制度の普及・啓発のために、説明会や個別相談会を行います。専門的な相談窓口を身近な場所で提供する機会とします。
- イ 金沢区成年後見ネットワーク事業連絡会・事例検討会と、新たに市民後見人の活動支援を目的とした分科会に参加し、関係機関との連携を更に深めると共に、専門性の向上に努めます。
- ウ 地域活動交流担当とも連携しながら、様々な事業で権利擁護に関する要素を取り入れ、情報提供を行います。
- エ 金沢区あんしんセンターと協力し、高齢者だけでなく障がい者も対象として、権利擁護に取り組みます。
- オ 消費者被害防止のため、横浜市消費生活総合センターと連携をとり、支援を行います。また随時、消費者被害に関する相談窓口の周知も行います。
- カ 悪質商法被害のご相談が増えている現状を受け、注意喚起チラシ等を作成し、掲示板への掲示・地域への回覧・介護保険事業者への周知・事業を通じて注意喚起を行い、地域の方へ注意を促していきます。関連情報の広報紙掲載等を行います。
- キ 金沢警察署生活安全課や横浜市消費生活センターに協力を仰ぎ、消費者被害防止のための最新情報の収集や普及啓発グッズを活用する等、注意喚起の工夫に努めます。
- ク 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、地域に向けた情報発信等区域での啓発にも取り組んでいきます。

② 高齢者虐待への対応

地域住民・民生委員・ケアマネジャー・関係機関等が気軽に情報交換や相談ができる顔の見える関係を作り、虐待予防や早期発見に繋がるよう努めます。また、虐待者・被虐待者双方への支援を行っていきます。

- ア 介護負担等を気軽に話し合える『らく楽介護の会』の実施を継続し、介護者の支援を行います。
- イ 虐待が疑われる場合には、ネットワークミーティングを開催し、関係者間で情報を共有しながら支援を検討します。また、区役所とも密接な連携をとり、関係者と共に対応します。
- ウ ケアマネジャー等の支援者へ、虐待に関する情報提供や相談窓口の周知を行います。
- エ 金沢区地域包括支援センター社会福祉士部会として、専門性の向上、普及啓発等について区との連携した形での区域の取組にも尽力します。

③認知症

認知症に関する個別相談支援を行うとともに、各種事業を通じて、認知症への理解や対応方法についての周知・啓発活動を行います。

- ア 個別相談では、介護者の話を傾聴しながら、ご本人の生活をより良くするための支援方法や情報を提供します。
- イ 地域のキャラバンメイトやボランティアなどと連携を図り、地域住民等へ出前講座や認知症サポーター養成講座等を行います。
- ウ 金沢区はいかい SOS ネットワークの協力機関として、行方不明になった認知症高齢者の捜索に協力します。また、ネットワークの円滑な運営に協力していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア 民生委員とケアマネジャー、各関係機関との連携を深めていくためケアマネジャーネットワーク構築支援を開催し、情報交換を行い、地域との連携を強めます。
- イ 地区民生委員児童委員協議会、町内会、老人会等に出向き、介護保険制度の説明や地域包括支援センターの役割を紹介し、活用を促します。また地域の情報を収集してケアマネジャーとの連携支援に繋がります。
- ウ 日頃より地域に出向き、地域の方々と顔を合わせ、顔の見える関係を築くことで相談しやすい状況ができるよう努めます。
- エ NPO 法人「こころの電話金沢」の定例会に出席し、情報共有を行い、事業に関連する地域住民の把握やインフォーマルサービスの依頼を行い連携します。

②医療・介護の連携推進支援

- ア 医療とケアマネジャーの連携が円滑に行えるように、金沢区医師会・薬剤師会・医療関係者・ケアマネジャーと情報交換会を各組織と共催して開催し、地域包括ケアを見据えたネットワーク作りを進めていきます。
- イ 地域の相談窓口である包括支援センターと地域の病院ソーシャルワーカーとの連携を強め、在宅に戻る際の体制づくりを円滑に行えるようにしていきます。
- ウ 地域ケアプラザ協力医との連携を深め、相談対応を行っています。
- エ エリア内の医療機関との良好な関係を作り、医療と介護の連携が深まり地域支援が円滑に進むよう努めます。
- オ 金沢区在宅医療相談室と連携し、医療や歯科の勉強会の開催や個別支援を行います。

③ケアマネジャー支援

- ア 地域のケアマネジャーと関係機関との顔の見える関係を築けるように、情報交換や研修の場を設け、また包括の情報発信の情報紙を作成し、配布します。
- イ ケアマネジャーのスキルアップのため、近隣の包括や区内9包括が合同により事例検討会や研修会を開催するとともに、新任ケアマネジャーや主任ケアマネジャーに対してスキルアップを図るべく勉強会の開催や情報を発信し、ケアマネジメントの質の向上に繋がる支援を行います。
- ウ 地域包括ケアを見据えた支援を進めていきます。
- エ 支援困難事例に対しては、相談だけでなく同行訪問やカンファレンス開催支援等を行い、個々のケアマネジャー支援をしていきます。
- オ 常に気軽に相談できる環境を整え、包括内でも情報収集、支援チームで動ける体制作りをしていきます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

他職種の協働による地域包括支援ネットワークは、以下の活動を組み合わせ複合的に推進していきます。

- ア 地域福祉保健計画の推進に向け、地区推進連絡会の地域支援チームの一員として区役所・区社会福祉協議会等と連携・協働し、意見交換等を行っていきます。
- イ 地域課題の解決に向け、地域ケア会議を開催していきます。
- ウ 定期的に「つながりの輪」を開催し、地域の福祉・保健に関する情報交換と地域課題の抽出、検討を地域の支援者並びに五職種で連携して行います。
- エ ケアマネジャーが地域の状況を知り、有効なインフォーマルサービスをケアプランに組み入れ、住み慣れた地域での生活が長く行えるように地域と連携できることを支援していきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア 自立支援を目指し、ご本人の意欲を大切にしながら、ご自身でできることを引き出し、また継続していけるように支援していきます。自立支援に向けた、多様で柔軟な生活支援が受けられる地域づくりを推進していきます。
- イ 生活機能低下の原因や危険性を早期に発見し、生活機能の向上のための具体的な目標を本人と共に共有していきます。
- ウ 支援計画に、利用者のセルフケア、家族支援、インフォーマルサービス、介護予防事業等を意識して取り入れていきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ア 高齢者を年齢や心身の状況で分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させていきます。
- イ 人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していけるような地域づくりを推進していきます。
- ウ 他職種と連携し、引き続き地区診断を行いながら自立支援に資する取組を推進します。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

当地域ケアプラザは「いきいきセンター金沢」内に設置され、金沢区の様々な方が利用される複合施設です。館内の各施設は月に一度連絡会を開催しており、連携して施設設備（空調・消防・機械警備・冷暖房機器等）の保守点検を行い、「管理標準」の項目に沿って定期点検を実施します。築 19 年となり、年数経過による故障も予測されますが、日常の管理を通して不具合の早期発見に努め、適切に迅速に対応していきます。

衛生管理や感染症予防に万全を期し、ご利用者に安心して、また安全に利用していただけるよう努めていきます。

また、職員が率先してボランティアとともに、毎週火曜日に『さわやか清掃』を行い、清掃・草取りで環境保全と緑化に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理の事業が円滑に運用されるように、各担当が連携をとりながら各事業を推進していきます。いきいきセンター金沢の建物管理、保守、清掃業者等の委託業者の選定にあたっては、電子入札等を実施し、経費削減を図っていきます。法人のスケールメリットを活用し、他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行い、経費節減を図ります。

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と業務や役割の分担を図りながら連携して事務の効率化に努めていきます。

横浜 3 R 夢運動を実施し、環境への取組に力を入れ、節電・節水・資源の有効活用を励行していきます。

ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応していきます。地域ケアプラザ内に「ご意見箱」を置き、窓口以外でもお受けできるようにしています。

また法人では公正・中立の立場から、あっせん、調整を行う第三者委員がおり、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取組を図ります。

苦情に対しては真摯に受け止め、不快と感じられたことに対しては即日対応し、原因・事実関係を明らかにし、必要に応じ体制を改善するなど再発防止に努めます。必要に応じて、市や区に要望や苦情について報告します。法人内の他施設の苦情も、月1回サービス向上委員会を設置し、原因・事実関係を検討し、再発防止に取組みます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当地域ケアプラザでは、地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画・避難確保計画等を策定しています。また年2回の避難訓練、心肺蘇生法・応急訓練、津波避難訓練等を通して、緊急時に地域ケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう訓練し災害時に備えます。当地域ケアプラザの利用者で安否確認が必要な方には、区と連携して訪問して安否を確認し支援していきます。

地域ケアプラザは、横浜市より特別避難場所としての指定を受けています。災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な在宅要援護者を、区災害対策本部長の要請によって受け入れます。金沢区災害ボランティアネットワーク・区内の施設とも連携をとり、月1回の定例会や講座・訓練などを行い、災害時に適切に対応できるようにしています。

防犯に関しては、警備業者と委託を結び、機械警備により火災・盗難等の防止に努めていきます。

オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中に起きた事故やヒヤリハットに対しては、必ず報告書を作成し、原因の究明・再発予防に取り組めます。事故等の報告を随時朝夕のミーティングの場において行い、職場内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めていきます。

また、1年分の事故・ヒヤリハット報告を分類・分析し、再発防止策を会議で検討します。そして事例に基づいた実践的な対応を学び、再発防止に努めていきます。当地域ケアプラザの事故・ヒヤリハットの事例だけでなく、法人内の他の事業所での事故の事例と対応も法人として把握し、報告書を回覧し、再発防止の意識を高めていきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、それぞれの地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を担当職員が受講し、職場でも研修を実施します。

全職員に対して年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施します。また実際に個人情報取り扱いチェックを実施し、自己を振り返り、緊張感をもって個人情報を取り扱うように周知します。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、止むを得ず携帯する場合には、管理職の許可を得て、最小限の情報のみを携帯するようにします。

個人情報の漏洩防止のため、連絡帳等の返却・郵便物の発送・FAX送信などの際には、複数の者でダブルチェックを実施します。広報等に個人が特定できる記事や写真等を載せる場合は、書面と口頭で了解を得ます。

キ 情報公開への取組について

当地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めていきます。公開情報の内容は、法人の概要・サービス内容・財務状況・中期経営計画・事業計画書・事業報告書・地域ケアプラザ施設運営情報等です。

またホームページの公開やパンフレット・チラシの配布などを活用して、法人・地域ケアプラザを知っていただき、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供していきます。

ク 人権啓発への取組について

法人では、倫理綱領を定め、人権の大切さ・自己決定・自立支援へ向けての取組について職員全体に周知しています。法人本部で人権研修が企画・実施され、職員が受講し事業所においても研修を実施します。

問題等があった場合は、事業所内で改善に向けた取組を行うとともに、事業所の状況を法人でも共有し、必要な対策をとっていきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ゴミの減量を推進し、省エネルギーに努めます。節電・節水・資源ごみの分別・資源の有効利用を心がけます。館内利用者にも協力を求め、ゴミの持ち帰りをお願いしていきます。

節電においては、不要な照明の消灯・使用していないパソコンの電源を落とし、日頃から省エネルギー対策の意識が定着するように啓発しています。これらは当地域ケアプラザが設置されている複合館いきいきセンター全体での取組でもあります。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（看護師） 1名 社会福祉士 2名 主任ケアマネジャー 1名

介護予防プランナー（介護支援専門員） 5名

- ア 社会福祉士、主任ケアマネジャー、介護予防プランナーと共に保健師が中心となって、介護予防支援業務に取り組めます。
- イ 介護予防支援業務の一部を居宅介護支援事業者に委託します。

《目標》

- ア 自立支援を目指し、ご本人の意欲を大切にしながら、ご自身でできることを引き出し、また継続していけるように支援していきます。自立支援に向けた、多様で柔軟な生活支援が受けられる地域づくりを推進していきます。
- イ 生活機能低下の原因や危険性を早期に発見し、生活機能の向上のための具体的な目標を本人と共に共有していきます。
- ウ 支援計画に、利用者のセルフケア、家族支援、インフォーマルサービス、介護予防事業等を意識して取り入れていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則としてご利用者の負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア 介護保険申請中の方の暫定サービス利用に対し、主任ケアマネジャーや社会福祉士などと連携をとりながら、居宅介護支援事業者及びサービス事業者との調整を行い、必要性に応じた早急な対応を行います。
- イ 介護保険外のインフォーマルサービスを、地域交流部門や地域の方々と連携し合い、紹介や調整を行います。
- ウ 介護予防事業「元気づくりステーション」等の取組や地域支援に対し、福祉保健センターと連携を図ります。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
250	250	250	250	250	250
10月	11月	12月	1月	2月	3月
250	250	250	250	250	250

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤兼務 1名
 主任介護支援専門員 常勤兼務 1名
 介護支援専門員：常勤 2名 非常勤専任 1名 非常勤兼務 4名

《目標》

- ア 適正な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場で居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行います。
- イ 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めていきます。
- ウ 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とし、取り組みます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則としてご利用者の負担はありません。
- 通常の事業実施地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族等に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨を文書に署名（記名、押印）をいただきます。その上で以下の方法で実費をいただきます。
 - ・公共交通機関を利用した場合
公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア 介護保険内のサービスだけでなく、地域と連携をとり、インフォーマルなサービスも調整していきます。
- イ 地域包括支援センターと連携をとり、緊急時や困難時にも対応します。
- ウ ご利用者が入院されても在宅復帰できるように、医療ソーシャルワーカーと連携をとり、相談に応じます。
- エ ご利用者の在宅生活が困難になったときには、ご利用者やご家族の意向を尊重し、各種施設の紹介をし、入所手続きの相談に応じます。
- オ 特定事業所（Ⅲ）の指定を受け、24時間対応できる体制を整えています。ケアマネジメントの質の向上に向けて個別に研修計画を策定し、研鑽していきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
105	105	105	105	105	105
10月	11月	12月	1月	2月	3月
107	107	107	107	107	107

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 個別機能訓練、口腔機能訓練、レクリエーション
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

	～通所介護～	～認知症対応型通所介護～
（要介護1）	704円	1,072円
（要介護2）	831円	1,188円
（要介護3）	963円	1,305円
（要介護4）	1,095円	1,422円
（要介護5）	1,227円	1,539円
個別機能訓練加算（認知症対応型通所介護のみ）		30円
サービス提供体制強化加算Ⅰイ	20円	20円
入浴介助（入浴された方のみ）	54円	55円
口腔機能向上加算	161円	164円
若年性認知症受入	65円	66円

● 食費負担

750円（おやつ代含む）

- 利用者の希望による手芸・工作などのクラブ活動においては材料費等の実費

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：30～16：30

《職員体制》

- 管理者：常勤兼務1名
- 生活相談員：常勤兼務4名
- 看護職員：非常勤兼務4名
- 介護職員：常勤兼務3名 非常勤兼務24名
- 機能訓練指導員：非常勤兼務4名
- 調理員：非常勤兼務6名
- 送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標》

「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にいたします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切にし、耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

～通所介護～

上記を目標とし、お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるように取り組みます。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分で、できないことは少しでも出来るように、とする自立支援的にかかわりに重点を置きます。増加する認知症の方の個別の状態に合わせて対応し、落ち着いたお気持ちでデイサービスをご利用いただくことを目指します。

～認知症対応型通所介護～

- お客様のお気持ちを尊重し、落ち着いたお気持ちで過ごしていただけるよう関わらせていただきます。出来る限り、お客様と介護者の意思疎通が図れるようゆったりと会話を持ち、あたたかい気持ちになれることを目指します。
- 個別機能訓練は、個々の能力とご希望に応じ、それぞれの状態に応じた体の動きができるよう取り組んでいきます。運動能力の高い方には、競技性の高い運動を取り入れ、身体を動かすことによる爽快感とゲーム性による楽しみも味わっていただけるよう工夫します。
- 創作活動やレクリエーションは、それぞれの方が持っている能力を活かし、達成感や楽しさを感じられるような関わりを行います。また、個人のみではなく、他の方と協力して行えることも工夫してまいります。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供いたします。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援します。
- 人権を尊重し、自尊心を保ち続けるケアを常に心がけてまいります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

～通所介護～

- 個別機能訓練は運動・動作能力の維持・向上を目的に、インストラクターの指導の下、いつまでも『住み慣れた地域・家庭で自立した生活が送れる』ようにストレッチ（柔軟）バランス（重心移動）コンディショニング（姿勢矯正）レジスタンス（筋力向上）などの各種トレーニングや日常生活における動作訓練を行います。また、機能訓練の一環として心身の活性化を目的に、施設外での活動をいたします。
- 看護職等による生活機能向上に資した個別機能訓練の実施も行います。
- 口腔機能向上訓練では、単なる歯磨きや嚥下体操だけでなく、看護職の指導の下、お客様一人ひとりの口腔内の状態や食事の様子を把握し、お客様が『いつまでも元気で、美味しく食事ができる』ように口腔ケアの方法や舌・口の周りの筋肉トレーニングを行います。
- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指して自分の目標を持っていただき取り組んでいきます。また、食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところはご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように取り組みます。
- 集団的にレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めます。
- 季節に合わせたお食事を提供します。お正月・敬老週間には松花堂弁当など器や献立も工夫します。お客様からの要望や希望をお聞きする機会を設け、食事が楽しく充実するよう取り組みます。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供いたします。
- 家族会を開催し、日頃から介護に携わるお客様家族同士や生活相談員等の意見交換の場を設けます。介護されるご家族同士の情報交換や、ご利用における疑問等の解消に努め、在宅と通所介護の連携を高めていきます。

～認知症対応型通所介護～

- お客様のお気持ちを尊重し、落ち着いたお気持ちで過ごしていただけるよう関わります。出来る限りお客様と介護者の意思疎通が図れるようゆったりと会話を持ち、あたたかい気持ちになれることを目指します。
- 個別機能訓練は、個々の能力とご希望に応じ、それぞれの状態に応じた体の動きができるよう取り組んでいきます。運動能力の高い方には、競技性の高い運動を取り入れ、身体を動かすことによる爽快感とゲーム性による楽しみも味わって

ただけるよう工夫してまいります。

- 創作活動やレクリエーションは、それぞれの方が持っている能力を活かし、達成感や楽しさを感じられるような関わりを行います。また、個人のみではなく、他の方と協力して行えることも工夫してまいります。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供いたします。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援します。
- 人権を尊重し、自尊心を保ち続けるケアを常に心がけてまいります。

《利用者目標（延べ人数）》

～通所介護～

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
660	682	660	682	682	660
10月	11月	12月	1月	2月	3月
682	660	616	616	616	682

～認知症対応型通所介護～

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	186	180	186	186	180
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	180	168	168	168	186

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなどのサービス）
- 運動器機能向上訓練、口腔機能向上訓練、生活機能向上グループ活動
- レクリエーション（集団・個別）戸外機能訓練
- 健康状態の観察、入浴、食事、送迎
- 生活指導・相談援助
- 広報誌の発行

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
- | | |
|----------------|---------|
| （事業対象者） | 1, 766円 |
| （要支援1） | 1, 766円 |
| （要支援2） | 3, 621円 |
| サービス提供体制強化加算Ⅰイ | 155円 |
| 運動器機能向上加算 | 242円 |
| 口腔機能向上加算 | 161円 |
| 若年性認知症受入 | 258円 |

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》

- 管理者：常勤兼務1名
- 生活相談員：常勤兼務4名
- 看護職員：非常勤兼務4名
- 介護職員：常勤兼務5名 非常勤兼務24名
- 機能訓練指導員：非常勤兼務4名
- 調理員：非常勤兼務6名
- 送迎運転手：非常勤兼務8名

《目標》

「みんな笑顔！来てよかったデイサービス」

- お客様の変化を見逃さないよう、ひとつひとつを大切にいたします
- お客様おひとりおひとりの言葉を大切に耳を傾けます
- お客様に信頼していただけるようチームワークに努めます
- 相談しやすい、話しやすい環境づくりに努めます

上記を目標とし、お客様の意思を尊重し、心身の状況や環境などに応じて、お客様が住み慣れた地域・家庭でいつまでも自立した日常生活を営むことができるように取り組みます。特に生活機能が低下しないように、ご自分でできることはできる限りご自分でできるような自立支援的かわりに重点を置き、必要に応じて目標を設定し、達成に向けて支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 運動器機能向上訓練加算を申請し、運動・動作能力の維持・向上を目的に、インストラクターの指導の下、いつまでも『住み慣れた地域・家庭で自立した生活を送れる』ようにストレッチ（柔軟）バランス（重心移動）コンディショニング（姿勢矯正）レジスタンス（筋力向上）などの各種トレーニングや日常生活における動作訓練を行います。また、機能訓練の一環として心身の活性化を目的に、外出レクリエーションを行います。
- 口腔機能向上加算を申請し、単なる歯磨きや嚥下体操だけでなく、看護職の指導の下、お客様一人ひとりの口腔内の状態や食事の様子を把握し、お客様が『いつまでも元気で、美味しく食事ができる』ように口腔ケアの方法や舌・口の周りの筋肉トレーニングを行います。
- お客様に対して、お客様の心身の状況や希望に基づき、集団的にレクリエーションを行い、創作活動などを通して、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めます。
- 集団的なレクリエーションだけでなく、個々の希望に合わせて自分で選択しながら楽しんでいただくコーナーを用意し、手芸・制作・ゲーム・囲碁・将棋・頭の体操・創作活動などを行い、お客様同士の交流を深め、心身の活性化に努めます。
- 自立支援的な取組により、生活機能の維持・向上と生活意欲の向上を目指しています。食事・排泄・入浴などの日常生活動作を通じて、ご自分でできるところはご自分で行っていただき、その方に応じた機能が向上するように目標を設定し、達成に向けて支援していきます。
- 入浴を楽しんでいただけるよう、毎月変わり湯を提供いたします。
- 日常生活に必要な能力の維持・向上を目指し、個別計画を作成し、充実した生活に繋がるよう支援します。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
22	22	22	22	22	22
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	22	22	22	22	22

平成29年度 「泥亀（施設名）」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,734,445	0	14,734,445		14,734,445	横浜市より
利用料金収入	6,678,383		6,678,383		6,678,383	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	480,000		480,000		480,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0	0	0	0	0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	21,892,828	0	21,892,828	0	21,892,828	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,053,661	0	12,053,661	0	12,053,661	
本俸	4,702,500		4,702,500	0	4,702,500	
社会保険料	1,094,954		1,094,954	0	1,094,954	
手当計	735,003		735,003	0	735,003	
健康診断費	42,096		42,096	0	42,096	
勤労者福祉共済掛金	8,526		8,526	0	8,526	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	151,000		151,000	0	151,000	
その他	5,319,582		5,319,582	0	5,319,582	
事務費	2,096,702	0	2,096,702	0	2,096,702	
旅費	16,750		16,750	0	16,750	
消耗品費	130,347		130,347	0	130,347	
会議ठी費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	177,650		177,650	0	177,650	
通信費	353,510		353,510	0	353,510	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	106,000		106,000	0	106,000	
職員等研修費	8,000		8,000	0	8,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	148,473		148,473	0	148,473	
手数料	39,360		39,360	0	39,360	
地域協力費			0	0	0	
その他	1,096,612		1,096,612	0	1,096,612	
事業費	600,000	0	600,000	0	600,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	600,000		600,000	0	600,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	5,942,465	0	5,942,465	0	5,942,465	
建築物・建築設備点検	559,447		559,447	0	559,447	指定額
光熱水費	3,503,960	0	3,503,960	0	3,503,960	
電気料金	1,456,125		1,456,125		1,456,125	
ガス料金	1,208,523		1,208,523		1,208,523	
水道料金	839,312		839,312		839,312	
清掃費	900,022		900,022	0	900,022	
修繕費	300,000	0	300,000	0	300,000	
機械警備費	94,178		94,178	0	94,178	
設備保全費	584,858	0	584,858	0	584,858	
空調衛生設備保守	117,316		117,316	0	117,316	
消防設備保守	93,239		93,239	0	93,239	
電気設備保守	21,963		21,963	0	21,963	
害虫駆除清掃保守	24,834		24,834	0	24,834	
駐車場設備保全費	43,450		43,450	0	43,450	
その他保全費	284,056		284,056	0	284,056	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,200,000		1,200,000	0	1,200,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	21,892,828	0	21,892,828	0	21,892,828	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「泥亀（施設名）」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,821,000		28,821,000		28,821,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	664,753		664,753		664,753	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	7,000		7,000		7,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（ ）			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	35,432,753	0	35,432,753	0	35,432,753	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,145,819	0	200,617,693	0	200,617,693	
本俸	16,753,500		99,452,269		99,452,269	
社会保険料	3,883,304		50,582,712		50,582,712	
手当計	2,899,659		26,019,303		26,019,303	
健康診断費	49,812		13,024,277		13,024,277	
勤労者福祉共済掛金	27,756		6,547,318		6,547,318	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	564,000		3,278,659		3,278,659	
その他	6,967,788		1,713,155		1,713,155	
事務費	1,455,894	0	1,455,894	0	1,455,894	
旅費	29,251		29,251		29,251	
消耗品費	70,359		70,359		70,359	
会議滞在費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	147,651		147,651		147,651	
通信費	269,514		269,514		269,514	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	37,500		37,500		37,500	
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	
振込手数料			0		0	
リース料	234,804		234,804		234,804	
手数料	39,360		39,360		39,360	
地域協力費			0		0	
その他	602,455		602,455		602,455	
事業費	1,179,820	0	1,179,820	0	1,179,820	
協力医	630,000		630,000		630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000		151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000		309,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	89,820		89,820		89,820	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,651,220	0	1,651,220	0	1,651,220	
建築物・建築設備点検	0		0		0	指定額
光熱水費	931,482	0	931,482		931,482	
電気料金	387,092		387,092		387,092	
ガス料金	321,270		321,270		321,270	
水道料金	223,120		223,120		223,120	
清掃費	239,246		239,246	0	239,246	
修繕費	300,000		300,000	0	300,000	
機械警備費	25,034		25,034	0	25,034	
設備保全費	155,458	0	155,458	0	155,458	
空調衛生設備保守	31,185		31,185	0	31,185	
消防設備保守	24,784		24,784	0	24,784	
電気設備保守	5,837		5,837	0	5,837	
害虫駆除清掃保守	6,601		6,601	0	6,601	
駐車場設備保全費	11,550		11,550	0	11,550	
その他保全費	75,501		75,501	0	75,501	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対対応費			0		0	
支出合計	35,432,753	0	204,904,627	0	204,904,627	
差引	0	0	#####	0	#####	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康サポート教室 「かめの会」	(目的) 概ね50歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。 (内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操	年間23回 毎月 第2・4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきサロン 「つるの会」	(目的) 高齢者、障がい者の閉じこもりを防止し地域住民の交流を図る。ケアプラザの周知、情報提供。折り紙、手芸などのツールを使い、脳を活性化する。 (内容) 地域住民が交流を図りながら、折り紙・手芸など手先を使って、作品を作る。	年間23回 毎月 第1・3木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき会食会	(目的) 食事を通じた地域での交流の機会。 ボランティア活動の場の提供。 (内容) 主に 高齢者を対象とした手打ちうどんの会食会 (共催) おかめの会	年間11回 4月11日、5月10日、6月5日、7月4日、9月12日、10月4日、11月6日、12月12日、1月25日、2月14日、3月5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティーサロン 「となりのえんがわ」	(目的) 地域住民の交流を図り、高齢者の居場所づくりのためのティーサロン。 (内容) ボランティアによる手作りお菓子とお茶の歓談の時間とミニ講座（介護保険、悪徳商法について、ペタンク等）を開催し、情報提供	開催：12回 毎月第3火曜日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療講演会	<p>(目的) 地域医療機関との連携を図り、地域住民に生活習慣病予防、介護予防、健康啓発を行う。</p> <p>(内容) 医療講演会</p> <p>(講師) 景翠会 金沢病院 医師 他</p>	<p>年3回</p> <p>未定</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
平潟南部 体操教室	<p>(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。</p> <p>(内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操</p> <p>(講師) 金沢スポーツクラブ 櫻井慧子氏</p> <p>(共催) 平潟町内会 平潟南部町内会</p>	<p>開催：10回</p> <p>毎月第4木曜日</p> <p>8月12月休み</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
乙舩・野島 体操教室	<p>(目的) 地域の概ね60歳以上の人を対象に、転倒骨折予防、介護予防や健康を増進のための体操を学び、日常の体操習慣をつける。地域で開催し高齢者に健康の啓発、情報提供する。</p> <p>(内容) 健康維持のためのストレッチやコンディショニング体操、かもめ体操、はまちちゃん体操</p> <p>(講師) 金沢スポーツクラブ 森映子氏</p> <p>(共催) 野島町内会 乙舩町内会</p>	<p>年10回</p> <p>毎月第2金曜日</p> <p>7月8月休み</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中途障がい者 体操教室	<p>(目的) 主に脳血管障害等による中途障がい者を対象に機能回復を目的とした体操</p> <p>(内容) 機能訓練 ゲーム 交流</p> <p>(講師) 横浜市体育協会</p>	<p>年11回</p> <p>毎月第4水曜日</p>

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者余暇支援 「いちばん星」	(目的) 学齢期を過ぎた障がい者の余暇活動支援 家族のレスパイト (内容) カラオケなどを楽しみ、交流を深める (共催) 晴嵐かなざわ	年11回 毎月第2水曜日 8月休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児余暇支援 「サマーフレンド」	(目的) 障がいのある学齢期の子どもが夏休みに様々な人と交流し 親と子が互いに有意義な余暇を楽しめる機会を提供する (内容) ラーメン作りと夏祭り(出店・手打ちラーメン・スイカ割り等) (共催) 金沢区社会福祉協議会 HANDS IN さる	年1回 7月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お母さんのしゃべり場	(目的) 子育ての悩み、不安を話すことで解消する。養育者同士の仲間作り。 情報交換・情報提供 (内容) ミニ企画 (ダンス 合唱等) 養育者同士の交流、リフレッシュ、情報交換、情報提供 (共催) 子育て支援ネット「ふきのとう」	年9回 毎月第2月曜日 (10月、1月、2月除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
育児講座	(目的) 乳幼児の養育者を対象に、乳幼児の健全な育成のため食育や心と体の健康を保つための育児講座を開催する。 (内容) 第1回 ふれあい遊び 第2回 運動会ごっこ 第3回 食育講座 (共催) 金沢さくら保育園 子育て支援ネット「ふきのとう」	年3回 6月21日 10月18日 1月23日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み こども工房	(目的) 地域の小学生の交流。ものづくりをすることにより達成感を味わう。 (内容) 手打ちうどんをつくろう	年2回 8月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき子育て 連絡会	(目的) 顔の見える関係を構築し、子育て支援団体、当事者団体、関係機関のネットワークを拡充する。地区主任児童委員と子育て支援関係の各団体との情報提供・情報交換 (内容) 地域の子育て支援をしている主任児童委員、地域子育て支援団体、当事者団体、子育て支援に関わる関係機関、貸室登録団体とのネットワークを構築し、団体相互の活動紹介、報告を行う。また情報交換、意見交換から課題の共有や、問題解決の方向性を探る。	年1回 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい 「らく楽介護の会」	(目的) 在宅で介護を行っている介護者や介護の経験のある方、また興味のある方を対象に、懇談会を中心として介護者同士の交流・情報交換等により一人で抱え込まない介護を目指す。 相談窓口の周知や介護負担の軽減を図る。 (内容) 懇談会、リラクゼーション、ミニ講座等	隔月開催 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度 講座	(目的) 地域住民に向け、成年後見制度・相続問題についての説明会を行う。説明会を行うことにより、制度の周知・利用啓発を行う。 (内容) 成年後見制度・相続問題についての説明会、個別相談会	年3回 9月頃予定

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域で見守る支援者のための勉強会	(目的) 障がいのある方やそのご家族を見守る地域支援者を対象とする勉強会。権利擁護の視点や各種制度の理解より支援の輪を広げる。 (内容) 懇談会 勉強会	年1回 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用調整会議	(目的) 福祉保健団体の交流 貸室利用のマナー向上 福祉保健活動の推進 (内容) 福祉保健活動等の情報提供や意見交換、活動継続等のための研修等	年2回 8月1日 2月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事サービスボランティア後方支援	(目的) 「食」を通して支えあうコミュニティーづくり 食事サービスボランティアの自主的活動を支援 (内容) 配食サービス「秋桜」の活動を支援	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきライブ 尚舞会オンステージ	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 尚舞会オンステージ	年1回 6月6日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いきいきライブ ニューイヤークンサート	(目的) 合唱、舞踊、演奏などを通じて地域住民の交流を深める。 (内容) 早大グリークラブOBわいわいクラブのよるニューイヤークンサート	年1回 1月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき工房	(目的) 地域高齢者の交流、仲間づくりを図る。ものづくりをすることにより、達成感を味わう。 (内容) ラベンダースティックづくり(6月19日) 他	年2回 6月19日 他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが町再発見 ウォーキング	(目的) 地域の歴史・名所を学び、地域を再発見する 地域住民の交流を図りながらウォーキングで健康増進する。 (内容) 金澤シティガイド協会の説明のよる金沢区の歴史、 名所を歩く。	年2回 5月23日 他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきセンターまつり	(目的) 地域の方々やいきいきセンターを利用している方々との交流を図る。ケアプラザの周知。 (内容) お囃子、転倒予防体操、ネイルアート、模擬店、バザー、血管年齢チェック、認知症啓発等 *全館開催 金沢区社会福祉協議会、晴嵐かなざわ、三師会立訪問看護ステーション、福祉機器支援センターと協働	年1回 10月28日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
泥亀クリーンアップ大作戦	<p>(目的) まちづくりの啓発 ボランティア啓発 多世代交流 青少年の健全な育成 ハマロードサポーター活動</p> <p>(内容) いきいきセンター金沢内の団体(晴嵐かなざわ 金沢区社会福祉協議会 福祉機器支援センター) と八景小学校が連携し、地域の清掃を行う。 まちづくりの啓発。</p> <p>(共催) 晴嵐かなざわ 八景小学校</p>	2回 6月6日他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公開セミナー	<p>(目的) 顔の見える関係の構築・迅速な問題解決・地域福祉の推進。地区民生委員・児童委員と事業所ケアマネジャー並びに地域の支援者・事業所とのネットワークの構築</p> <p>(内容) ケアプラザ主催で民生委員児童委員、地域の支援者、ケアマネジャーとの「公開セミナー」を今回は地域力を増進させ、地域担い手と地域の事業所や企業などネットワークを拡充するべく開催実施する。</p>	年1回 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども工作教室	<p>(目的) ものづくりを通じた小学生の交流の場の提供 ケアプラザを知るきっかけとなる。</p> <p>(内容) こども達が木材を選び、DIYアドバイザーの協力を得て作品を製作する。</p>	年1回 8月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児者余暇支援事業 「手打ちうどんをつくろう」	<p>(目的) 障害児者が様々な人と共有な体験を通して交流することができる</p> <p>(内容) ボランティアと協力してうどんを作り、味わう。その後ゲームなどで楽しむ</p>	1回 未定

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性の料理教室	(目的) 中高年の男性の地域活動や仲間づくりのきっかけ (内容) 簡単で栄養のバランスを考えた食事作り	4回 6月28日 9月26日 11月20日 1月29日

よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	(目的) ボランティアのきっかけ、ボランティア活動の紹介等 (内容) 介護支援ボランティア登録研修会、質疑応答	1回 6月7日
------------------------	--	------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン支援者交流会	(目的) 地域でサロンを運営している支援者を対象に情報交換や交流の機会を提供 (内容) 情報交換、意見交換	年3回 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3歳からの子育て応援講座① 3回コース	(目的) 子育ての不安や悩みを持っている養育者に子どもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションやしつけのヒントを具体的に学ぶ。	年1回 9月14日 9月21日 10月5日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3歳からの子育て 応援講座② 3回コース	(目的) 子育ての不安や悩みを持っている養育者に子どもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方などを知る機会を提供 (内容) わかりやすいコミュニケーションやしつけのヒントを具体的に学ぶ。	年1回 未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3歳からの子育て 応援講座 フォローアップ	(目的) 子育ての不安や悩みを持つ養育者がこどもにとって分かりやすいコミュニケーションの取り方について具体的に学び、子育てが楽に、楽しく感じられるようになる。養育者の交流 (内容) 実践してみてもうまくいったことやうまくいかなかったことを共有し、参加者同士の意見交換や講師からのアドバイスを受け、悩みや成果を共有	年2回 6月23日 他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児支援講座 (3回コース)	(目的) 子育て家庭への支援 父親同士のつながりや交流 (内容) 父親育児に関する座学や座談会、体を使った遊びや絵本の読み聞かせなど	年1回 12月2日 1月13日 2月10日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	(目的) ケアプラザで活動されているボランティアの方々の交流、活動の継続や発展へのモチベーションの維持、向上 (内容) お互いのボランティア活動の情報交換、意見交換、交流など	年1回 2月6日

平成29年度 自主事業計画書

横浜市泥亀地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
『つながりの輪 この指と～ま れ』	<p>(目的) 民生委員、ケアマネジャー、地域の方々と連携を深め自分たちで地域に出来る事を考え情報・意見交換を行い、地域の支援作りのきっかけをつくる。 ひとりくらしの高齢者や認知症の方々への民生委員の活動の中から見えてくる内容を中心に地域での高齢者支援を話し合い連携をとれる体制作りを行う。 (内容) 地域での取り組みや活動に向けての情報交換、意見交換、実施に向けての基礎作り</p>	年間全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域のみんなの 居場所 『わっか』	<p>(目的) 住民主体による地域の方の居場所づくり</p> <p>(内容) 龍華寺・地藏堂で、地域の人が集える居場所を開催する。</p>	<p>年11回 毎月最終火曜日</p>

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康サポート教室 「かめの会」	おおむね50歳以上の人	127,460	3,260	124,200	94,760	0	32,700
	30名						
	200円						
脳いきいきサロン 「つるの会」	高齢者	61,800	4,300	57,500	0	41,400	20,400
	25名						
	100円						
いきいき会食会	地域住民	102,000	3,000	99,000	0	82,500	19,500
	30名						
	300円						
ティーサロン 「となりのえんがわ」	高齢者	28,882	10,882	18,000	6,682	15,000	7,200
	30名						
	100円						
医療講演会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	延べ60名						
	無料						
平潟南部体操教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	延べ110名						
	300円(各回)						
乙舳・野島体操教室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	延べ180名						
	300円(各回)						
中途障がい者体操教室	中途障がい者・介護者	28,600	12,100	16,500	22,000	0	6,600
	30名						
	100円						
障がい者余暇支援 「いちばん星」	知的障がい者・精神障がい者	23,600	5,000	18,600	0	17,000	6,600
	20名						
	100円(8回)200円(3回)						
学齢障がい児余暇支援 「サマーフレンド」	学齢障がい児	30,000	25,000	5,000	0	25,000	5,000
	5名						
	1000円						
お母さんのしゃべり場	乳幼児養育者	15,568	4,768	10,800	5,568	0	10,000
	20組						
	100円						
育児講座	乳幼児の養育者	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	75名						
	無料						
夏休み子ども工房	小学生	8,840	7,340	1,500	0	8,000	840
	15名						
	100円						
いきいき子育て連絡会	乳幼児養育者・子育て関係機関	0	0	0	0	0	0
	35名						
	無料						

平成29年度 自主事業収支計画書

介護者のつどい 「らく楽介護の会」	介護者・高齢者	20,000	20,000	0	15,000	0	5,000
	90名(延べ)						
	無料						
成年後見制度講座	地域住民	5,000	5,000	0	5,000	5,000	0
	30名						
	無料						
地域で見守る 支援者のための勉強会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	15名						
	無料						
利用調整会議	貸室利用団体	17,000	17,000	0	0	0	17,000
	延べ80名						
	無料						
食事サービスボランティア 後方支援	地域住民	0	0	0	0	0	0
	50名						
	無料						
いきいきライブ 尚部会オンステージ	地域住民	8,000	8,000	0	0	0	8,000
	80名						
	無料						
いきいきライブ ニューイヤーコンサート	地域住民	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	70名						
	無料						
いきいき工房	地域住民	20,000	2,000	18,000	0	18,000	2,000
	延べ60名						
	300円						
わが町再発見 ウォーキング	地域住民	12,000	3,000	9,000	0	0	12,000
	延べ30名						
	300円						
いきいきセンターまつり	地域住民	45,000	20,000	25,000	0	25,000	20,000
	延べ80名						
	無料 (出店による売上収入)						
泥亀クリーンアップ大作戦	地域住民・小学生	0	0	0	0	0	0
	80名(延べ)						
	無料						
公開セミナー	地域住民	45,000	45,000	0	30,000	0	15,000
	45名						
	無料						
こども工作教室	小学生	5,560	5,560	0	0	0	5,560
	20名						
	無料						
障がい児者余暇支援事業 手打ちうどんをつくろう	障がい児者	7,560	5,560	2,000	0	7,000	560
	10名						
	200円						
男性の料理教室	概ね60歳以上の男性	27,800	7,800	20,000	0	25,000	2,800
	10名						
	500円						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	65歳以上の市民	0	0	0	0	0	560
	35名						
	無料						

平成29年度 自主事業収支計画書

サロン支援者交流会	サロン支援者						
	20名	0	0	0	0	0	0
	無料						
3歳からの子育て講座① (3回コース)	養育者						
	10名	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	無料						
3歳からの子育て講座② (3回コース)	養育者						
	10名	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	無料						
3歳からの子育て応援講座 フォローアップ	養育者						
	15名	8,000	8,000	0	8,000	0	0
	無料						
父親育児支援講座	父親						
	20名	0	0	0	0	0	0
	無料						
ボランティア交流会	ボランティア						
	30名	25,000	25,000	0	0	25,000	0
	無料						
つながりの輪 この指と〜まれ	地域住民						
	180名	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	無料						
わっか	地域住民						
	55人×11回	106,400	45,900	60,500	0	106,400	0
	100円						
こども工作教室	小学生						
	20名	5,560	5,560	0	0	0	5,560
	無料						
		833,630	348,030	485,600	211,010	420,300	207,880

事業ごとに別紙に記載してください。